



1月19日の「秋田ふるさと市民賞」の表彰式

市長コラム

# 日っネカ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

## 秋田の冬を熱くした アスリートたち

穏やかな年明けでした。年末から正月にかけては、ラグビーやサッカー、駅伝などの全国大会のテレビ中継で地元高校生の応援に熱くなっていた市民のかたも多かったのではないのでしょうか。

時期は少し戻りますが、昨年12月、秋田の若者が躍動したうれしいニュースが相次ぎました。まずは、北都銀行バドミントン部の米元小春・田中志穂ペア、いわゆる「ヨネタナ」の世界一です。12月13日にアラブ首長国連邦ドバイで開催された「BWFワールドスーパーシリーズファイナルズ」女子ダブルスでの初出場初優勝という輝かしい成績。この大会はオリンピック、世界選手権に次ぐ世界最高峰の舞台であり、秋田市民として大きな誇りであり喜びです。市としては市民に元氣と感動を与えてくれたことに感謝し、市役所前にお祝いの看板を設置し、さ

らには「秋田ふるさと市民賞」を贈ることを決めました。実は、米元選手は広島県、田中選手は熊本県出身で、元々秋田とは縁のなかつた選手です。このことは見方を変えれば、1971年に創部し、日本リーグに参入以来順調にランクを上げてきた同部の選手強化策にかける地道な努力が実を結んだとも言えます。また、地域貢献活動にも熱心で、年間を通して県内の小・中・高校や特別支援学校などでバドミントン教室を開催しています。市民や経済人の間には、こうしたチームの姿に感動・共感し、新たに応援団を結成する動きもあるようです。

なお、「秋田ふるさと市民賞」は日本人女性で初めてK2登頂に成功した小松由佳さん、ロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダリストの江畑幸子さんに続いての授与となります。

そしてもう一つはサッカーJ3ブラウブリッツ秋田の優勝です。12月3日、アウエーの地・鳥取市での、まさにシーズンラストゲームでした。優勝するためには、1、2位が引き分けて、3位のBB秋田が勝つほかない状況で、奇跡的に栄冠を勝ち取りました。自力だけではなかったことを考えると、神様も味方してくれたように思います。市としても、J2昇格に向け、スタジアム整備などの面で出来るだけの支援をしていくつもりです。

平昌オリンピック開幕はもうすぐですし、夏にはロシアでのサッカー・ワールドカップも控えています。来年はラグビー・ワールドカップが国内各都市で開催され、そしてその翌年はいよいよ東京オリンピックです。「ヨネタナ」の優勝が決まったとき、市役所前の看板に記した言葉はズバリ「東京五輪の星となれ!!」でした。





## 社会福祉への 貢献に対し 厚生労働大臣表彰

問い合わせ 福祉総務課 ☎(888)5657



1月11日、市役所で、平成29年度社会福祉功労者・ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰の伝達式を行いました。

いずれも、長年にわたる市の社会福祉推進への功績が認められたものです。表彰を受けたのは次の7人、2団体のみなさんです。おめでとうございます。

### 【社会福祉功労】 \*（内は勤務先）

■ 民生委員・児童委員功労者

千蒲隆さん、柴田紀子さん

■ 共同募金運動奉仕者

長谷川瑞子さん

■ 社会福祉事業従事功労者

北村孝さん（松涛園）、

井上日登美さん（松峰園）、

後藤富美子さん（松寿園）

■ 福祉事務所等職員功労者

田中真人さん（秋田市役所）

### 【ボランティア功労】

▼ 団体「てんてんクラブ」

秋田県点字図書館を拠点とし、点訳作業を長年にわたり継続して行っています

▼ 団体「月つぎわ」

秋田県点字図書館を拠点とし、音訳作業を長年にわたり継続して行っています

\*上の写真は伝達式に出席されたみなさんです。

## 新成人としての 飛躍をともに誓う

1月7日、CNAアリーナ★あきたで、「新成人のつどい」を開催しました。式典では、穂積市長のお祝いの言葉に続き、この催しの運営協力委員を務めた藤田英駿さんと花塚悠希さんが新成人を代表してあいさつ。藤田さんは、「これから精一杯幸せな人生を歩むことで、両親へ恩返しをしたい」と感謝の気持ちを述べました。

今年の秋田市の新成人は2千898人（男性1千497人、女性1千401人）です。若い力は、まちづくりの原動力。みなさんの活躍大いに期待しています！

生涯学習室 ☎(888)5810



## 市内の各小学校で 雪国防災訓練を実施

冬季の地震や火災などを想定した「雪国防災訓練」が、毎年市内の各小学校で行われています。この訓練は、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災を教訓に、秋田市小学校長会が呼びかけ、震災の翌年から行っているものです。

取材に伺った保戸野小学校では、地震発生を知らせる校内放送が流れると、子どもたちは机の下に身を隠し、先生の指示のもと迅速に校庭に避難していました。同小では5月と10月にも避難訓練を実施していますが、今回は冬場の訓練ということで、防寒着への着替えや長靴への履き替えなど、寒さに備えた避難方法を改めて確認しました。



真剣な表情で訓練に臨む保戸野小の子どもたち。避難開始からわずか数分ですべての児童の避難が完了しました(1月17日)